

落合公園再整備基本設計

2025（令和 7）年 3 月

春日井市

目次

◆イメージパース.....	1
◆落合公園概要.....	2
◆再整備に向けた取組.....	2
◆ゾーニング案（落合公園再整備基本計画）.....	3
◆基本設計図.....	4
◆基本設計の方針.....	5
◆遊具広場.....	6
◆水あそびスペース.....	7
◆多目的広場.....	8
◆駐車場.....	9
◆植栽.....	10
◆バリアフリー.....	10
◆公園設備の増強.....	11
◆今後のスケジュール.....	11

◆イメージパース



図表 落合公園鳥瞰図（再整備後）

◆落合公園概要

落合公園は、市の中北部に位置し、朝露光り輝く緑があり、池では魚が飛び跳ねる緑豊かな公園です。1989（平成元）年 7 月には、「日本の都市公園 100 選」の 1 つに選定されました。景観が美しい総合公園で、公園内には池があり水鳥が観察できるほか、フナなどの釣り池にもなっています。その他、のびのびと寝ころんだり遊ぶことのできる大芝生広場、池に浮かぶ日本式庭園、池を取り囲む遊歩道、遊具のある広場、高さ約 21m の「フォリー水の塔」などの様々な施設、運動をする人、散歩をする人、釣りをする人、子どもを遊ばせる人など様々な楽しみ方ができる公園です。2022（令和 4）年 2 月 1 日には、隣接するグリーンパレス春日井の 2 階に季節や天候に関係なく乳児から小学生までが遊べる子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」がオープンしました。

また、「桜の名所」としても知られており、春には約 90 種・約 1000 本の色とりどりのサクラが開花し、大勢の人で賑わいます。春の「わいわいカーニバル」、夏の「市民納涼まつり」の会場でもあり、大駐車場も完備されています。

公園概要				
名称	落合公園	所在地	春日井市東野町字落合池 1 番地	
都市計画 決定面積	約 24.0ha		出典：Google Maps を元に作成	
都市計画 公園種別	総合公園			
都市計画 決定	1961（昭和 36）年			
沿革	1961（昭和 36）年 都市計画決定			1992（平成 4）年 フォリー水の塔整備
	1979（昭和 54）年 大噴水整備			1993（平成 5）年 カナディアンハウス整備
	1980（昭和 55）年 遊具整備			1995（平成 7）年 管理棟整備

図表 落合公園概要

◆再整備に向けた取組

2021（令和 3）年度、2022（令和 4）年度に本市を代表する落合公園をより親しまれる公園とするため、トライアル・サウンディング※や市民ニーズを把握するためのアンケート調査を実施し、その結果を受けて、これまで以上に親しまれる公園とする利活用方針を 2023（令和 5）年 4 月に作成しました。さらに、この方針を踏まえて 2024（令和 6）年 3 月に再整備基本計画を作成しました。

再整備基本計画に基づき、技術的、デザインの、経済的な視点から設計指針を明らかにするとともに、実施設計に向けて施設配置や諸施設の形状等の基本設計を行います。



※トライアル・サウンディングとは
公共施設などにおいて、事業者のアイデアやノウハウを生かした取り組みを実施し、その効果を検証する調査のこと。



図表
トライアル・サウンディングの様子

図表 再整備までの流れ

◆ゾーニング案（落合公園再整備基本計画）

基本方針を踏まえ、対象範囲内のゾーニングを以下のように設定します。

芝生ゾーン

観覧スペース

緩傾斜を活かして、ステージで開催されるイベントを観覧できるエリア。



出典：望京 SOHO／中国
<https://m.jiemian.com/article/2418142.html>
 「界面新聞」

芝休憩スペース

緩やかでのびやかな芝生の上で休憩・のんびりとするエリア。



出典：Schöpfwerk Park／オーストリア
<https://www.3zu0.com/>
 「Hertha Hurnaus」

樹林ゾーン

既存の樹木を残しつつ、園路沿いに健康器具などを配置し、市民が快適に運動やウォーキングができるエリア。



出典：江端公園／愛知県大府市
<https://join.commufa.jp/tanoshimo/>
 「タノシモ！」

トイレ

- 明るく清潔で、親子連れや障がい者など全ての人が安心して利用できるトイレを整備。
- 遊んで汚れた手足を洗う場所も併設。



出典：牡鹿ビレッジレストスペース／宮城県石巻市
<https://www.biz-lixil.com/column/>
 「LIXIL ビジネス情報」

フォーリー
設備改修

イベントゾーン

多目的広場

- ステージ活用ができるフラットな広場空間。
- 平常時は大屋根の下で、親子が日差しを除けて休憩することができる。
- 子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」をはじめとする周辺施設と連携した利用やイベントを開催できるエリア。



出典：多摩中央公園／東京都多摩市
<https://groove-designs.com/>
 「Groove Designs」



出典：湊川公園／兵庫県神戸市
<https://koberun.net/>
 「こべるん ～変化していく神戸～」

遊びゾーン

遊具広場

幼児から児童までが自由に遊べる大型複合遊具やインクルーシブ遊具を整備。



出典：オーストラリア
<https://www.playgrounds.co.nz/>
 「Playground People Ltd」

水あそびスペース

より多くの水遊びが楽しめるエリア。



出典：Yagan Square／オーストラリア
<https://landezine.com/>
 「landezine」

休憩所

遊具広場と水あそびスペースの間には、保護者が日陰で休みながら子どもを見守ることができるスペースを整備。

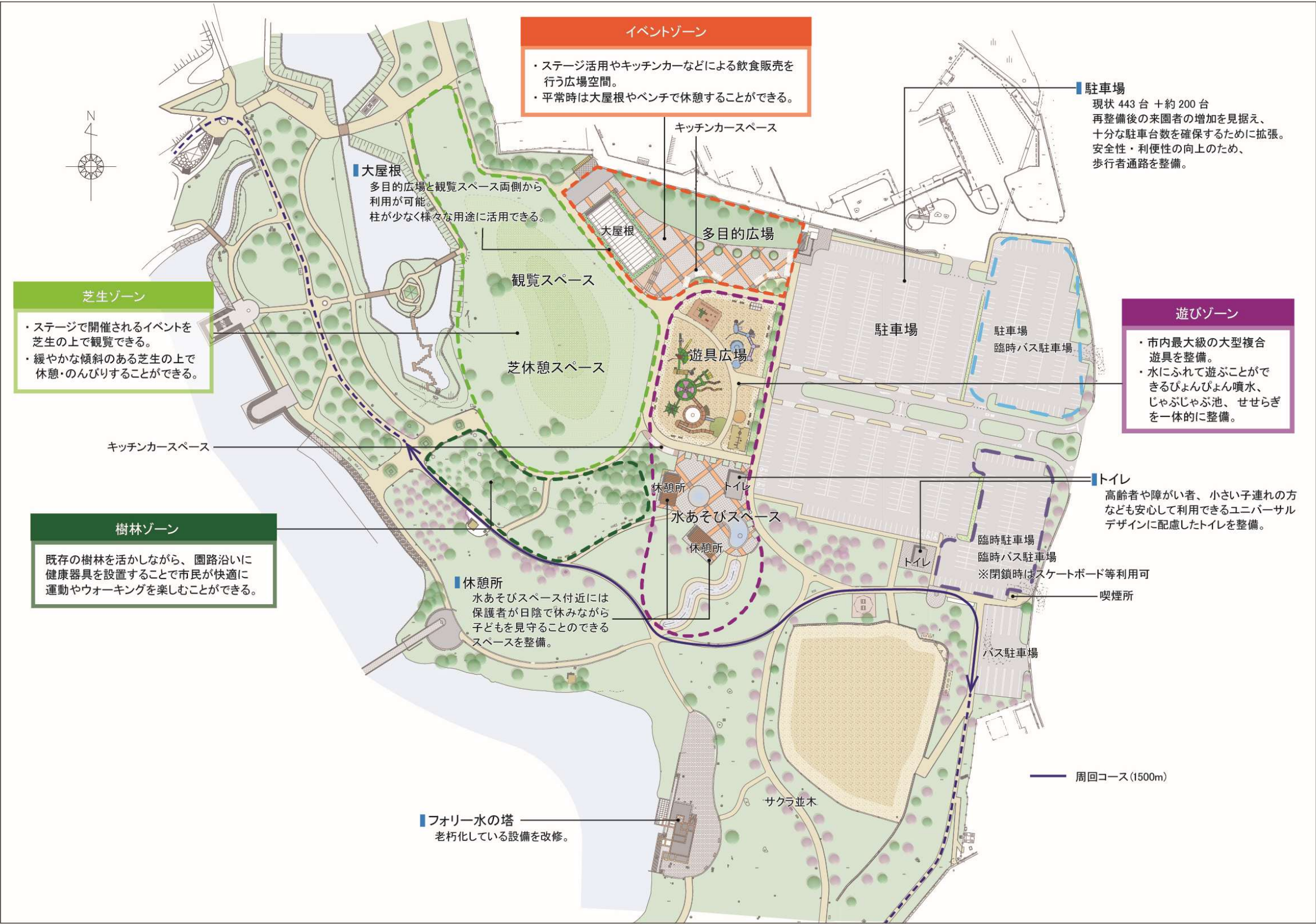


出典：龍田公園／愛知県岡崎市
<https://www.s-onsite.com/>
 「オンサイト計画設計事務所」

※写真はイメージです。

図表 ゾーニング案

◆基本設計図



図表 基本設計図

◆基本設計の方針

基本設計の方針を「交流・にぎわい」「遊び・健康」「憩い・やすらぎ」「安全・安心」の4つの項目に設定します。それぞれの項目における主な整備方針は以下の通りです。

基本コンセプト みんなの笑顔が落ち合う公園

【交流・にぎわい】 多様な活動を受け入れ、だれもが主役になれる空間の創出

- イベントゾーンに整備する約 500 m²の大屋根は、**観覧スペースと多目的広場のどちらからも利用が可能**であり、用途やイベントの規模に合わせ、さまざまな活動に利用することができます。
- 大屋根の下は、周囲より高くすることでイベント時にステージとして利用ができ、観覧席や多目的広場から観覧しやすくなるよう工夫します。ステージにあがる階段は、平常時には座ってくつろぐスペースとしても利用できます。
- 多目的広場には**芝生エリアと舗装エリアを整備**し、イベント時には人々が座って憩う空間とキッチンカーや仮設店舗を配置して人々が集いにぎわう空間を創出します。
- 多目的広場にはキッチンカーや仮設店舗による飲食や物販等の提供を想定し、**電源設備を整備**します。

【遊び・健康】 子どもが遊べる選択肢のある施設整備

- 遊びゾーンには、**遊具広場と水遊びスペース**を整備し、子どもの好奇心を刺激する遊びの場を提供します。
- 遊具広場には、市内最大級の**複合遊具**に加え、**乳幼児用遊具**を整備し、**インクルーシブに配慮して**年齢や障がいの有無にかかわらず、多くの子どもが遊べる工夫を行います。
- 水あそびスペースには、見る、触れる、溜める、浮かぶなどさまざまな遊び方ができるよう、**ぴよんぴよん噴水、じゃぶじゃぶ池、せせらぎ**の3種類の水あそび施設を整備します。
- グリーンパレス春日井にある子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」とも連携して遊べるように動線を確保します。

【憩い・やすらぎ】 自然を身近に感じ、やすらげる空間の創出

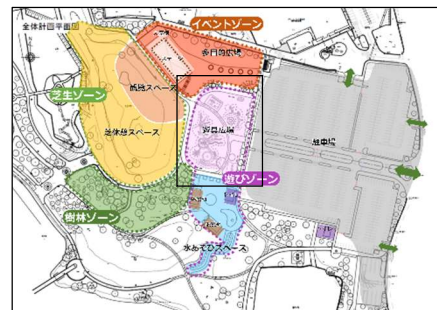
- 市民が自然を感じながら、落ち着いて自分の時間をゆったりと過ごせるよう、各所に休憩施設やベンチを整備します。
- イベントを行わない日の大屋根は、利用者が自由に休憩したり、飲食を楽しんだりすることのできる**大きな日陰のスペース**として活用することができます。膜屋根の大屋根とすることで日の光を取り入れ明るい空間とします。
- 遊びゾーンの中にはベンチや日よけ屋根を整備し、保護者が子どもの遊ぶ姿を近くでゆったり見守ることができるような、**子どもだけでなく保護者も快適に利用できる空間**とします。
- 季節を感じながら散策やウォーキングが楽しめるよう、市民から親しまれているサクラやその他の植物を活かしながら、再整備エリアにも新たな植栽を整備し、公園全体を彩ります。
- 再整備エリアの主な動線となる園路には並木を整備することで、夏の日差しを和らげ、利用者にやすらぎを与えます。

【安全・安心】 だれもが安心して快適に利用できる施設整備

- 駐車場は、駐車スペースの配置の見直しや余地等の廃止により、**駐車台数の増設**を図るとともに、**思いやり駐車場や歩行者通路の整備**を行い、利便性と安全性の向上を図ります。
- メインとなるトイレは、オストメイト設備や乳幼児用のベッド、授乳スペース等を整備し、利便性の向上を図るとともに、明るく開放感のあるデザインとして安全性にも配慮します。
- 再整備エリア全体において、できる限り段差を解消し、また、園内の主要動線は**バリアフリーに配慮した計画**とします。
- 老朽化しているフォリー水の塔は、安心して利用できるよう改修を行い、今後も落合公園のシンボルとしての役割を担います。
- いたずらや犯罪を防ぐため、適切な照明計画や遊具広場のフェンス、公園各所への防犯カメラの設置を行います。

◆遊具広場

他エリアとのつながりや安全性を考慮し、遊具広場を以下のように整備します。



位置図

- 市内最大級の複合遊具に加え、対象年齢を乳幼児から児童と幅広く設定し、インクルーシブ遊具も整備することで、多くの子どもが楽しく遊べる工夫を行います。
- ネットツリーやトランポリンなど、市内の他の公園にはない遊び要素を取り入れます。



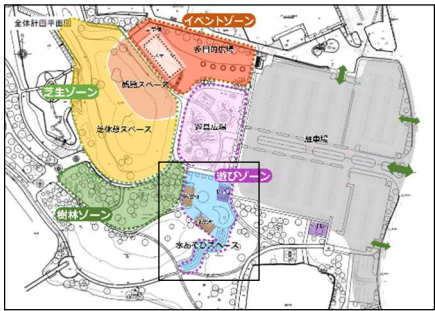
図表 遊具広場 配置図



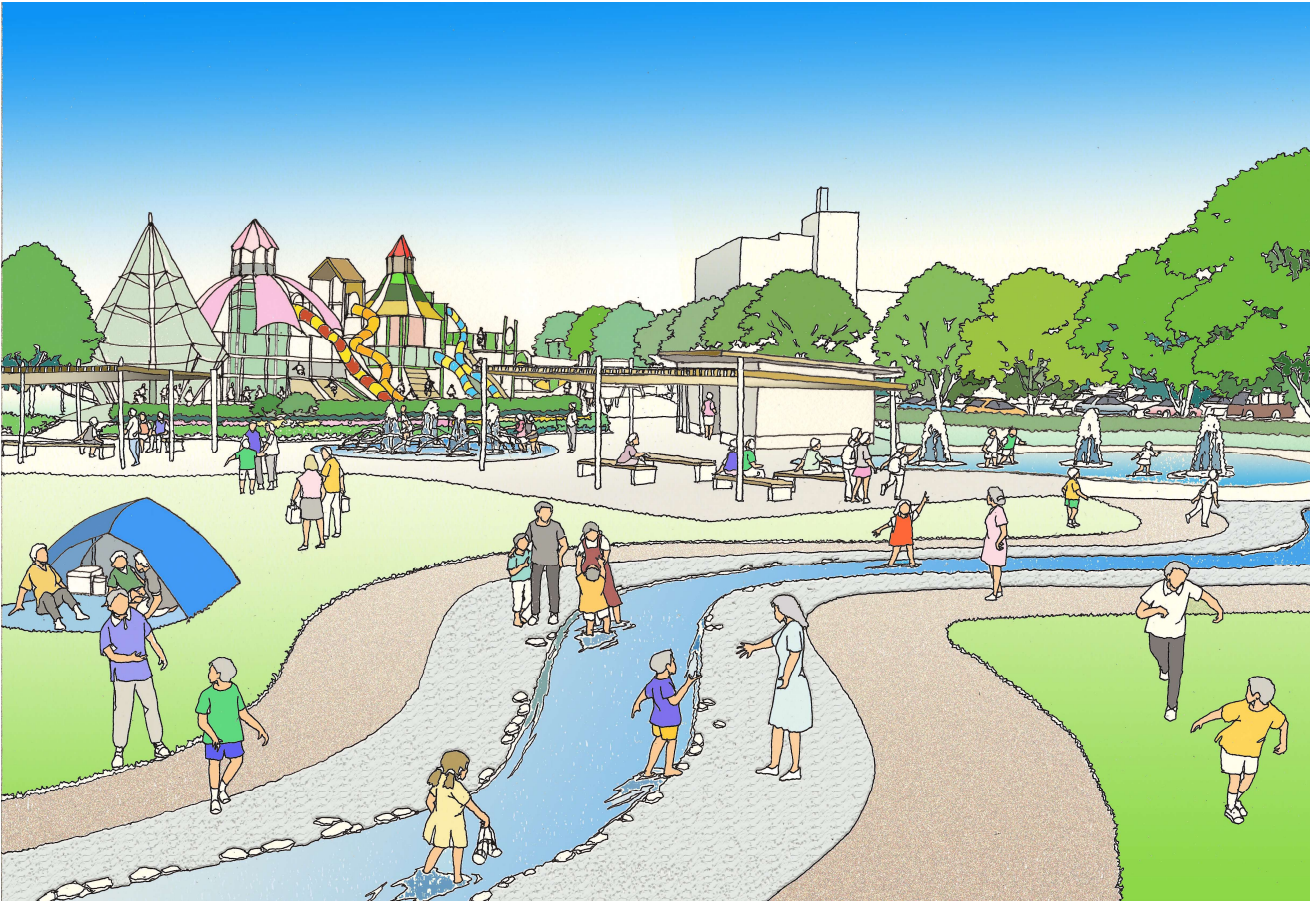
図表 遊具広場 イメージパース

- 児童用複合遊具は遊ぶ場所を複数のブロックに分けることで子どもを分散させ、過密になることを防ぐとともに、子ども同士の衝突といった事故リスクの低下を図ります。
- 対象年齢によってテーマを分け、児童用は落合公園の「桜」、幼児用は「落合池」、乳幼児用は春日井市の特産である「サボテン」と地域の特性をデザインに取り入れます。
- 駐車場から遊具広場、遊具広場からトイレや休憩施設など、利用者の動線を確保します。
- 休憩施設を設置し、子どもだけでなく保護者も快適に利用できる空間とします。

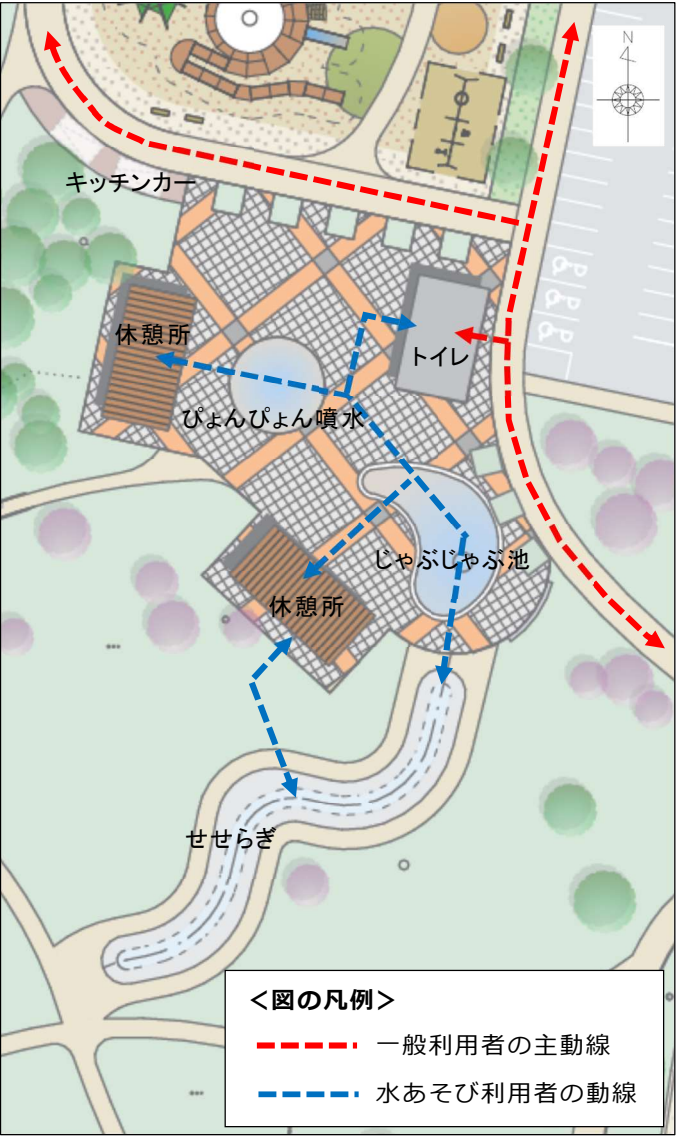
◆水あそびスペース



位置図



図表 水あそびスペース イメージパース



図表 水あそびエリア 配置図

水あそび



● **びよんびよん噴水**
子どもの背丈まで上がるような水をリズムカルに噴射し、動きを持たせることで、小学校高学年くらいまで楽しむことができます。
(出典：生田ふれあい公園／神奈川県 <https://doscience.co.jp/projects/3444/>)



● **じゃぶじゃぶ池**
水に浸かって楽しめるだけでなく、アワ噴水やアーチ噴水など種類の異なる噴水を組み合わせ、シンボル性を高めます。
(出典：おおね公園／神奈川県 <https://1000enpark.com/park/00075/>)



● **せせらぎ**
シンプルな構造と緩やかな流れとし、小さな子どもでも安全に遊べる設えにするとともに維持管理しやすい構造とします。
(出典：長池公園／長野県 https://shinshu-oyako.com/nagaikoen_summer/)

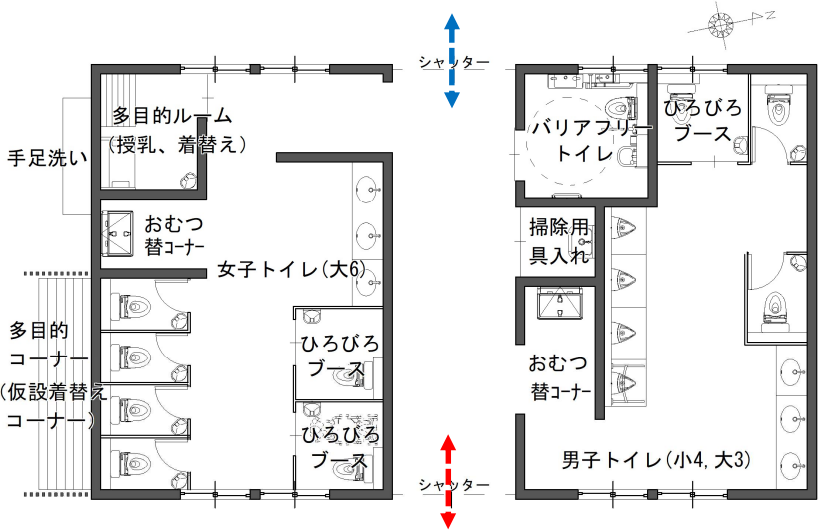
休憩所

- 保護者が日陰で休みながら水あそびスペースや遊具広場の子どもを見守ることのできる休憩所を整備します。
- 使いやすさに配慮し、ベンチ等を設置するとともにベビーカーや車椅子利用者にも配慮します。

トイレ

- トイレ棟の出入口は、一般利用者および水遊び利用者の動線に配慮し2ヶ所設置します。
- 男女トイレにベビーカーが入れるひろびろブースやおむつ替えコーナーを設置します。
- 女子トイレに授乳や着替えに利用できる多目的ルームを設置します。
- 手足洗い、多目的コーナー（仮設着替えコーナー）は各水遊びから分かりやすい位置に配置します。



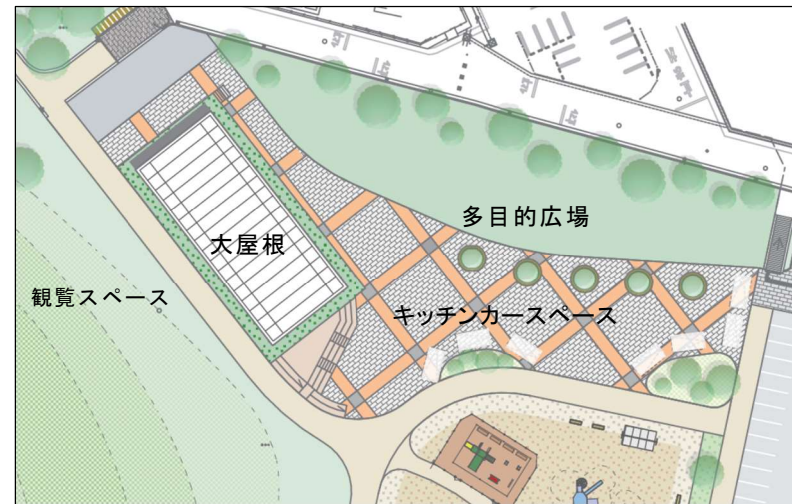


図表 トイレ 平面図

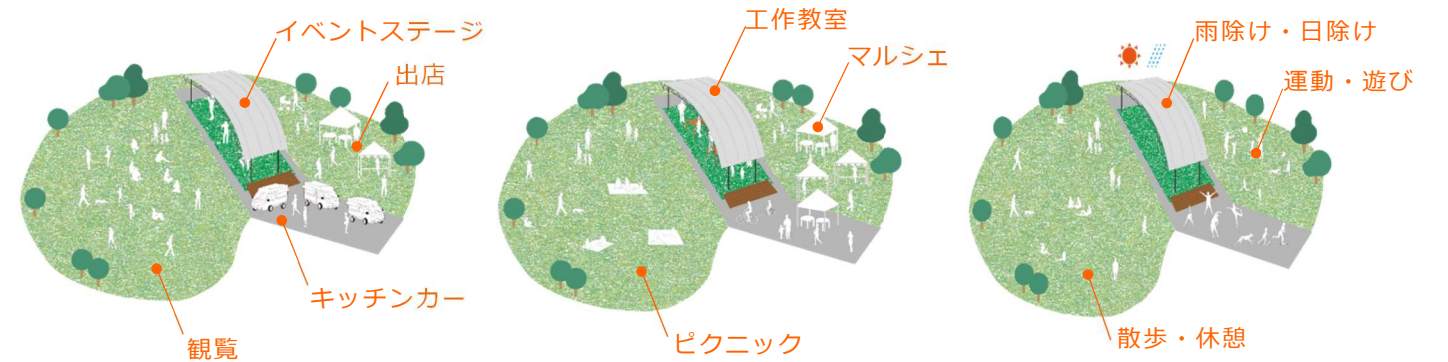
◆多目的広場



位置図



図表 多目的広場 配置図



ライブイベント

週末イベント

日常使い

図表 多目的広場 活用イメージ



図表 多目的広場 イメージパース

多目的広場

- 多目的に利用できる芝生エリアとキッチンカー等が乗り入れできる舗装エリアを整備します。
- イベント時に利用できる電源や水道等を整備します。



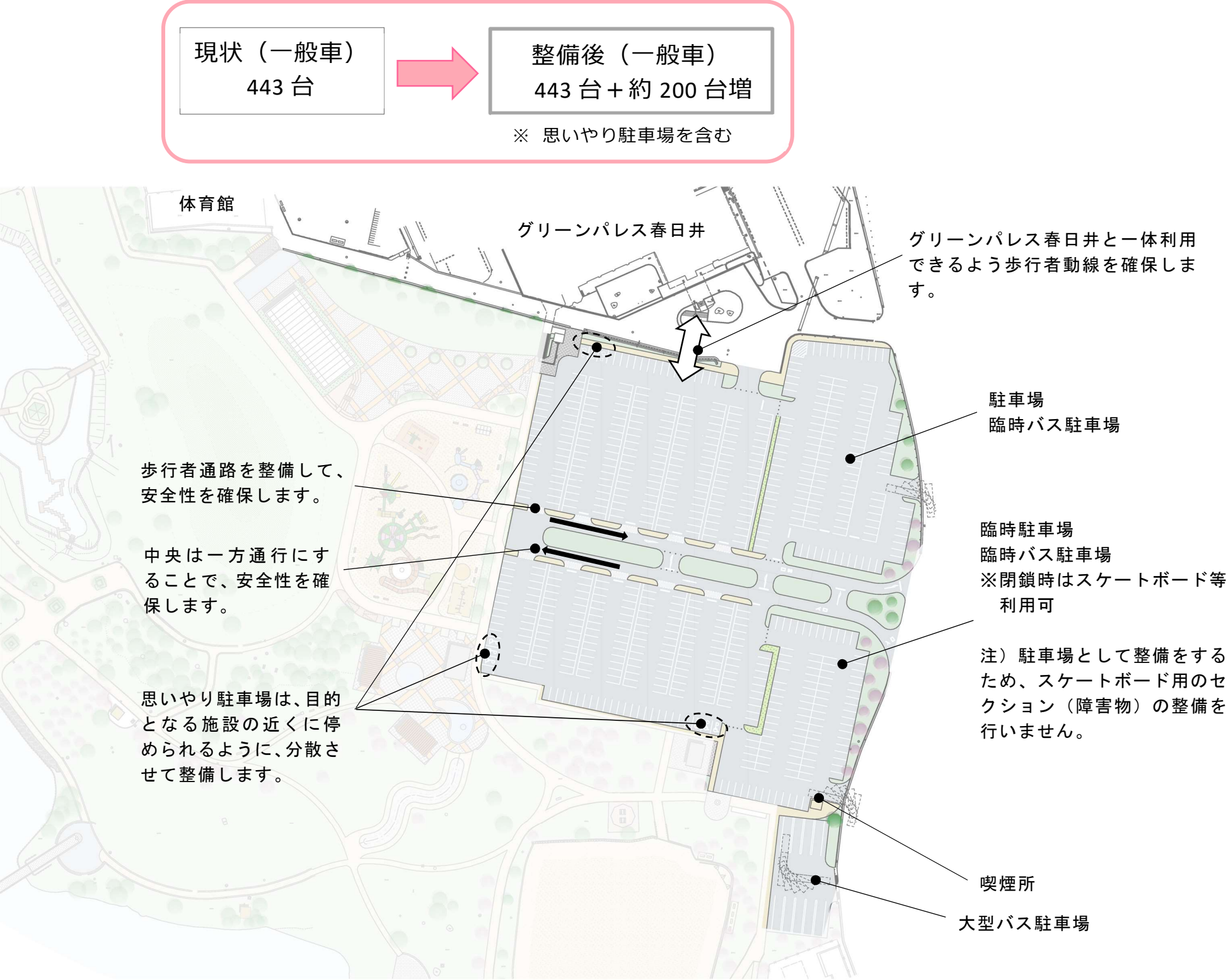
図表 大屋根 イメージパース

大屋根

- 多目的広場と観覧スペースの中央に大屋根を設置し、両側からの多面的な利用に対応します。
- 日影を作りながらも明るく開放的な膜屋根構造を採用します。
- 柱が少なく様々な用途に活用できるようにします。

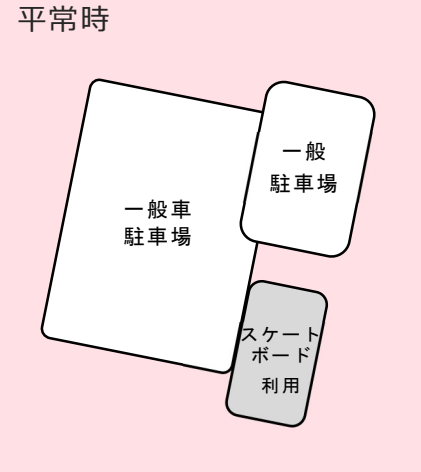
◆ 駐車場

- 再整備後の来園者の増加や、体育館などでの大会時を見据え、一般乗用車、大型バスの駐車台数を増設します。
- 思いやり駐車場や駐車場内に歩行者通路の整備を行い、利便性と安全性の向上を図ります。
- 季節やイベント、周辺施設の利用にあわせて柔軟に対応した運用が出来るようにします。
- 安全安心に配慮し、防犯カメラを設置します。



図表 駐車場平面図

運用イメージ



◆植栽

基本的な考え方

- 現状の公園の植生を活かし、緑豊かな公園を維持します。
- 高木、中低木をバランスよく配置し、見通しの良い明るい空間とします。

植栽の現状

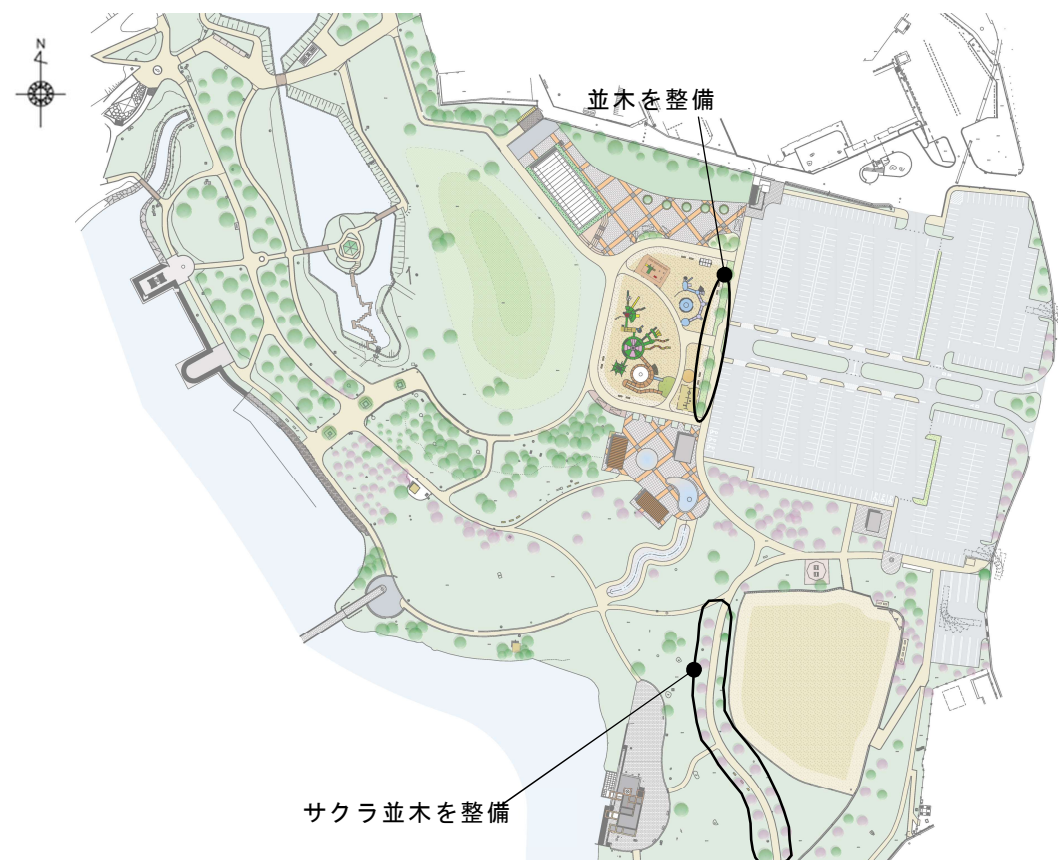
主な中高木：サクラ、クスノキ、ケヤキ、マテバシイ、ウバメガシ、シラカシ、クロガネモチ、ヤマモモ、キンモクセイ、サザンカ など

主な低木：ツツジ、サツキ、ユキヤナギ、シャリンバイ、カンツバキ、アベリア、ツゲ など

主な地被類：芝

整備内容

- 駐車場と遊具広場の間の園路には並木を整備し、主要動線としてふさわしい空間とします。
- サクラ並木を整備し、「桜の名所」としての公園の魅力を維持します。
- 散水栓を取り付けて、効果的な維持管理をします。



図表 植栽平面図

◆バリアフリー

基本的な考え方

高齢者や障がい者等を含む全ての人々にとって利用しやすい公園とするため、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」や「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」に基づき、バリアフリー化に取り組めます。

整備内容

- 利用者が安全に利用できるように、駐車場には思いやり駐車場や歩行者用通路を設けます。
- トイレは衛生面や快適性、安全性の向上を図ることに加え、メインとなるトイレには、オストメイト設備やおむつ替えスペース、授乳スペースなどを整備し、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮します。
- 利用者が安全に通行できるように、適所に照明を設け、十分な明るさを確保します。
- 高齢者、障がい者等が転落するおそれのある場所には、さく等転落を防止するための設備を整備します。
- 視覚障がい者の利用に配慮し、視覚障がい者誘導用ブロックや点字等による表示、触知案内図を整備します。
- 主要な園路は、バリアフリー基準に沿った園路幅員、勾配、舗装とします。



図表 バリアフリー動線 平面図

◆公園設備の増強

インフラ設備

- キッチンカーや仮設店舗による飲食サービス等を想定し、電源等のインフラ設備を整備します。
- 遊具広場や水遊びスペースなどで遊んで汚れた手足を洗うための手足洗い場を整備します。
- 環境に配慮し、トイレには節水機能を持つ手洗いや洗浄設備、公園内の照明灯には省エネ効果のある LED 照明を採用します。



■屋外電源イメージ
(出典：パナソニック株式会社)



■手足洗い場イメージ
(出典：株式会社サカエ)

インフォメーション

- 園内施設や周辺の公共施設（体育館、グリーンパレス春日井など）の位置が把握しやすいように公園各所に案内サイン等を設置します。
- 案内サインはピクトグラムや触知案内図、多言語表記の活用を行い、子どもや障がい者、外国人など誰もが分かりやすいインフォメーション機能を整備します。



■多言語表記の誘導サインイメージ



■触知案内図イメージ

防犯対策

- 安全安心に配慮し、適所に防犯カメラを設置します。
- 夜間のいたずらや犯罪を防止するため、遊具広場へのフェンス設置やトイレハッチャターを設置するほか、適切に照明を配置します。



■防犯カメライメージ



■遊具広場へのフェンス設置イメージ
(出典：朝日スチール工業株式会社)

◆今後のスケジュール

2024（令和 6）年度内に基本設計を策定し、2026（令和 8）年度より段階的に工事を進めます。

図表 今後のスケジュール

項 目	2024 年度 (令和 6 年度)	2025 年度 (令和 7 年度)	2026 年度 (令和 8 年度)	2027 年度 (令和 9 年度)	2028 年度 (令和 10 年度)
基本設計					
実施設計					
整備工事					